

能美市の防災力強化に大きな期待

令和3年4月13日、消防本部に導入された屈折はしご付消防ポンプ自動車と津波・大規模風水害対策車を視察した。

屈折はしご付消防ポンプ自動車は、最大約25mの高さまではしごを伸縮でき、屈折させることで約16mの作業半径を確保。また、最大で毎分2,000リットルを放水できる。

津波・大規模風水害対策車は、悪路走行が可能な小型水陸両用車やボートを積載した緊急消防援助隊として出動するための車両である、との説明を受けた。

ギイン の視点

- ①いずれの車両も市の防災力を高めるためには非常に有用
- ②装備を有意義に使用するために操作技術の向上を
- ③イベント等で市民が体験できる機会を設けてはどうか



災害時に効率的で迅速な救助が可能



高所での消火や救助で活躍

民営化でさらなるサービスの向上を

令和3年5月19日、今年7月1日にグランドオープンとなった民営の健康増進施設「クアハウスN9」の完成前視察を行った。

前施設と比較して、屋内プールやフィットネスのエリアが拡大され、男女各バスルームにはサウナも完備。カフェスペースも新設され、利用者同士の交流の場としても活用できる。

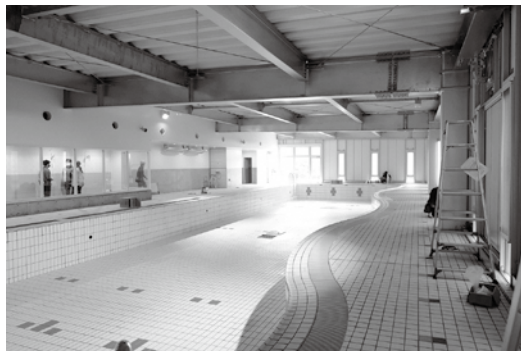
また、多彩なスタジオプログラムが組み込まれ、あらゆる世代が楽しみながら、健康増進を目指せる施設に生まれ変わる、との説明を受けた。

ギイン の視点

- ①民営化しても市民の健康増進機能を維持できるように
- ②継続的な会員確保のため、積極的なPRやキャンペーンを
- ③若者の利用者を取り込み、地域の活性化を



フィットネスエリアの広さは2倍以上に



観覧席を備えた25mプール

能美市の新しいトピックスに着目！